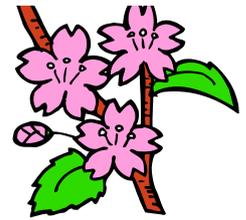


Bee通信 April



リーダーとしての「判断・決断・指示」

地震発生から1ヶ月が経過しました。家族の死を受け入れる辛さ、家屋等被災された方の不安は、私達の想像以上のことだと思えます。一日も早い復旧をお祈り申し上げると共に、元気の「パワー」をみんなで東北地方の方々に送りましょう。

さて、地震発生は仕事中の時間でした。皆様の職場ではどのような行動をとりましたか？

当事務所は、出入り口のドアと道に面している大きな窓を開け通路の確保をし、机の下に非難しました。(事務机も比較的頑丈な机を選んでいました。)

長い横揺れがおさまり、机の下に非難したままの私達に「逃げなくていいの？みんな外に逃げているよ」とお隣の部屋の方。この言葉に反応し、窓から外を見ました。外には多くの人・人・人でした。この場合、机の下に待機していた方がよかったのか、それとも外に逃げた方がよかったのか・・・判断が問われます。

今回の津波でお亡くなりになっている方は、2回目、3回目の津波で命を落と

されていることを知りました。1回目の津波後、家族の安否確認や必要な物を家に取りに戻ったことで、亡くなられた方が多いようです。また関東にある企業の多くは、震災直後仕事を早めに切り上げ、自宅に帰るよう指示しました。不幸中の幸いか、その後大きな地震は発生しませんでした。電車が動かぬ中、何時間もかけての帰宅、又は知らない施設での寝泊まりは社員にとって安全だったのでしょうか？

未だ東北・関東では、毎日何回か余震があります。遭遇した際の適切な判断・決断・指示は自分の命を守ることはもちろん、大切な家族や社員の命を守ることに繋がります。



『災害・戦争・医療・経営の4つは、同じ考え方をする』というお話を聞きました。リーダーとして経営を学べば、災害時にも応用できるということです。そこに『学ぶ勇気』も加えて！

私もBee職員の命を預かっていることを忘れないよう自覚します。

The earthquake in Japan

多くの国がメディアを通じ日本にエールを送ると共に、地震と原発のニュースを連日のように紹介しています。

boston.comでは、日本で紹介されていない写真が多く掲載されています。

多くの方がお亡くなりになったという報道があっても、現地を見ていなければ実感できないのが正直なところ。目を背けたくなる写真もありますが、日本国内で起きた事実を日本人として受け止めるためにも、外国からの目線で確認することも良いと思います。

~目次~

地震や計画停電による休業は？	2
余儀なく休業している企業への助成金	2
魔法のあいさつ	2
リーダーへのお勧め図書「武士道」の読み方	3
365日の誕生花	3
2010年以降「インゲジメト(絆)」の時代	4
ルナ・レガーロ	4

~お知らせ~

健康保険料率と介護保険料率は、2011年3月より変更されています。

《愛知県》
93.3/1000 94.8/1000

雇用保険料率は、2011年4月からも変更ありません。

《一般》
会社：9.5/1000
被保険者：6/1000
《建設》
会社：11.5/1000
被保険者：7/1000



英国 THE INDEPENDENT紙
「がんばれ、日本。がんばれ、東北。」